



月報

岡崎の教育

3月号

平成7年3月1日

発行/編集

岡崎市教育委員会

思いつきり息を吸い込んで
肩を上げて車輪を回す

自分の重みが

自分の腕に伝わる瞬間^{とき}

車椅子が動き出す

右へ回るには

左へ回るには

障害物を越えるには

自分の意思が

車椅子に伝わらない瞬間^{とき}

車椅子の大変さを知る

車椅子から降りて

自分の足で立った瞬間^{とき}

自分の健康のありがたさを知る

〈車椅子体験〉



(常小フェスティバル — 常盤小)

岡崎女子短期大学は、今年創設三十年の記念すべき年を迎えます。この間、三河地方を中心に幼児教育、初等教育、一般社会の各領域に有能な人材を送り出し、卒業生約一万四千人が活躍していることは私たちの誇りであります。

この三十年間、女性のライフサイクルが著しく変化し、女性の社会に



おける活動、役割分担の変化が見られ、また、女性が変わることによって男性が変わり、男女ともに力を合わせることにより新たな社会的向上を求めて参りました。この社会における女性の地位の向上の動きは、目に見えない社会改革の大きな歯車として、ゆっくりと大きく動いており、何人も止めることはできません。

時代の大きな変化が確実に静かに

動いております。この間、国も男女雇用機会均等法を初めとして男女に育児休暇を与え、さらに、これに賃金保証を与えようとして女性の活動を保護してまいりました。女性のボランティア活動の拡大、女性の地域社会における活動の成果は著しいものがあります。

— 教育随想 —

女性の地位向上と 本学の役割

岡崎女子短期大学
理事長・学長
永田 水甫



世界は高齢化社会を迎え、従来、北欧を中心とした社会福祉国家が日本と異なった素晴らしいものとして

宣伝されてきましたが、その高度に発達した福祉政策も今や国家財政の中で歪みをもたらし、その国の国家政策の中で見直しをせざるを得ない深刻な問題を抱えております。

日本では、欧米と異なり東洋的な温

かい夫妻、子供を中心とした家族関係の中で、行政がどこまで関与し、援助して老人看護を育成するかという

老人介護の今日的な問題があります。私共はかかる時代の要請に伴い、

大学の教授方法の改善、カリキュラムの改定をし、ファカルティデベロプメントに着手しております。大学は自己評価、自己点検の時代に入り、いろいろ工夫をし改善をいたしております。見通しを持った主体性のある女性の育成を目指し、経済、社会、歴史の中で己の位置付けのできる女性を育成したいものです。

本学は、生涯学習にも力をいれ、愛知県教育委員会の委嘱による「あいち女性カレッジ」「愛知県民大学」を開催し、皆様の好評を得ております。女性のリカレント教育にも力を注ぎます。女性の学習のための優れた学舎を有し、教育環境の素晴らしい灯台山にある岡崎女子短期大学にぜひお立寄り下さい。お待ちしております。

(ながた みずほ)



人を以て鏡と為す

葵中学校長

山内 満



先日、教育実習に関する打ち合わせが名古屋で開かれ、出席した。

実習生を受け入れた学校から、次のような報告があった。「目的意識がはっきりしている。教職への熱意が感じられた。」「勤務態度が真面目な実習生が多かった。空き時間や放課後には、教材研究、部活動などに意欲的に取り組んでいた。このように、実習生の心構えや態度、実習への取り組みの様子については、良い評価であった。しかし一方で、「あいつ、言葉遣い、服装等に不十分な実習生が見られる。一部には、基本的な生活習慣が身につけていない実習生もいる。事前指導の徹底をお願いしたい」といった、実習を依頼した大学への要望も出ていた。

この報告を聞いて、単に実習生だけのことではない、現場ではどうだ

ふるさとシリーズ
この人に聞く

能面に魅せられて

市川 久和子 氏

市川さんのお人柄そのままの温かい笑顔に迎えられて、楽しいひとときを過ごした。

通された部屋で、まず目についたのが、市川さんの制作された木彫作品であった。それは、大型の鏡の縁飾りであり、壁掛けの飾り時計であり、状差し、マガジンラックなどであった。そして、出していただいたお茶の茶托もしかりであった。

どれも愛着のあるものばかり、とおっしゃる市川さんに、木彫りとの出会いについてお聞きした。

「父が入院をしましてね。そのとき

付き添いをしていた母が、心を落ち着かせるために木彫りを始めたんです。そして、完成した作品をもらったんですが、木彫りというのは自分も楽しめて、人にも喜びを与えられるし、いいものだなあと思ったのがきっかけですね。」と語っていただいた。もちろん、子供のころより絵を描いたり、編み物をしたりすることが好きだったそうである。

OL時代に謡曲を習っておられた市川さんは、動きによっては幾通りもの表情を見せる能面に興味を持たれたそうである。そして、十五年ほど前に北沢一念先生に師事する機会を得、今では、その奥の深さに魅せられて、能面打ちにいちばん力を入れておられるそうである。

「一、二年に一作しかできないというほど時間と労力を必要とする能面。それだけに、譲ってほしいとの話にも、今はまだどれも手放せないと断っておられるという。」

ふかい 深井・増女・中将・狸々・怪士・大癪見…。数ある自作の能面の中で、

ご自分の最も好きな作品である「石王尉（いしおおじょう）」を見せていただいた。髪・髭の一本一本が植え込んである、まさに大作であった。

市川さんは現在、西尾や一色、そして岡崎の愛宕学区で教えておられる。また、西尾の市民美術展などで工芸部門の審査員をされるなど多忙である。そんな市川さんにこれから夢を語っていただいた。

「夢のまた夢かもしれないけれど、若いころ自分が謡曲をやったものでしょ。それでね、自分の打った面をつけて、能を舞ってみたいなんて思っているんですよ。」
本当に笑顔のすてきな爽やかな人であった。

氏名 いちかわ くわこ
生年月日 昭和十年十一月十三日
住所 若松町大廻一十六



ろうかと思いついてみた。

先輩の先生には個性のある人が多かったとよく言われる。個性味ある人の良し悪しをここで論議するのはない。ただ、生きのいい先生がいることで職場の雰囲気ぐんと盛り上がり、学校の活性化につながっていったことは確かだと思う。そういう環境で育った者にとっては、歯痒い思いをすることも事実である。

近頃の先生はスマートで優等生が多いという声もよく耳にする。優等生であることに越したことはないが、現場では、やぼったさや泥臭さも必要な時がある。いや、こちらのほうが大切な要素なのかもしれない。

先の、大学への要望事項「あいさつ、言葉遣い」といった基本的な事柄などは、本来家庭でしつけるべきであって、大学で指導すべきことではない。服装にしてもわかりである。生徒の前に立つ者が、どんな身なりをしておればよいかは、職場の中で先輩や同僚を見て、自分なりに学びとるものだと思う。

故事にも、「人を以て鏡と為す」とある。他人の言葉、あるいは行動に自分を当てはめて考え、間違った生き方をしないように慎むこと、という意味で、心したい言葉である。

マルチメディアの利用

—VODを取り入れた授業—



現在、マルチメディアの教育的利用が注目されている。

昨年の十一月二十九日に、藤川小と新香山中でマルチメディアを利用した授業が公開された。藤川小では社会科五年「伝統的な技術を生かした工業」（授業者—小田哲也教諭）、新香山中では理科三年「地球と人間—自然と人間との調和」（授業者—浪花良行教諭）の学習であった。

両授業とも、VOD（ビデオ・オン・デマンド）を利用した。VODは、岡崎リサーチセンター（市役所に設置）に入力されているデジタル化したビデオ教材（市視聴覚ライブラリーが所有する視聴覚教材）を光ケーブルにより転送し、学校の端末機で取り出すシステムである。両校では、VODのビデオ教材だけでなく、パソコンの教材ソフトや図書資料等を整備して、教室全体がマルチメディア環境となるように設定した。そして、さまざまなメディアからの情報を児童・生徒が活用できることをめざして授業が進められた。

初めて利用したVODは、必要な情報を取り出したり、関連する場面を視聴することに有効であり、好評であった。そして今後は、VODのソフトを増やす計画がある。

VODを授業に利用する試みは、本年の二月から三月にかけて、八校（細川小、生平小、藤川小、六ツ美中部小、新香山中、常盤中、東海中、矢作北中）に拡大され、平成七年度中には、三十校で開始される予定である。



▲ さあ、スタートしよう



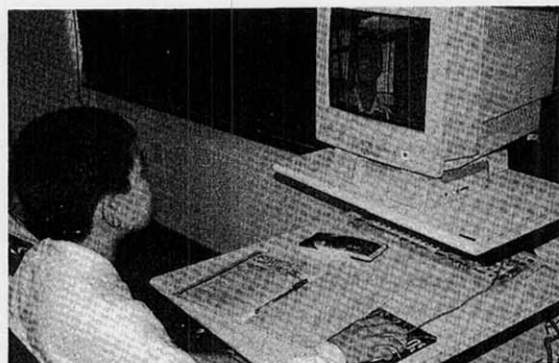
▲ 送信の様子はどうかな



▲ 真剣なまなざし・・・



▲ 図書資料も活用して



▲ うまくよびだせるかな(マウスで)



▲ うまくよびだせるかな(キーボードで)



▲ 新聞・市政だよりも取り上げられて

VODで活用できるビデオ教材

(2月現在において)

ビデオ教材名	ｽﾀｯｸの数	ビデオ教材名	ｽﾀｯｸの数
① 石工業の新しい動き	15	⑫ ゲンジボタルの里	21
② とうろうつくり	12	⑬ おかざきっ子展 '94	
③ 三河仏壇	13	⑭ 中学生の主張H6 (3校分ずつ5つと、5校分が1つとの計6つに入力されている。)	
④ 生まれ変わるごみ	9	⑮ 岡崎のハーモニー (1部と3部は通して、2部は各ブロックごとに入力されている。)	
⑤ 矢作川の指標生物	15	⑯ 本多光太郎「つとめてやむな」	
⑥ 松くい虫を追って	11	⑰ 三河武士たちの世界へ	
⑦ 生きている土	12	⑱ 城下町岡崎	
⑧ 公害を考える	11	⑲ アニメ 岡崎に根づいた産業	
⑨ 生活を守るために	9	⑳ アニメ 岡崎に開花した文化	
⑩ 下水のしまつ	8		
⑪ ごみはどこへ	10		

※スタック……概念的な資料映像

※①～⑫もスタックごとだけでなく通して見る事ができる。



▲ どのスタックにあるかな

ふれあい

通学路自慢のなかで

常盤東小学校

濱田 律子

「あつ、ぼくたちここを通つてくるよ。」

ビデオに写し出された通学路に見入る子供たち。

東西に細長くのびている学区の地図がオープンスペースに広がり、改めて学区の広さを実感したようである。

今日は、通学路の自慢大会。子供たちは、それぞれの自慢をカードに書いて持ちよった。次々に自慢しようと手が挙がり、うれしそうに発表している。

「途中にわき水が流れているところがあります。夏は冷たくて気持ちがいいです。」

「やちよ橋の下は、カメラや魚がとれます。」

いいな、いつてみたいなのつぶやく子供たち。



「毎日、石屋のおじさんが、パイパイといつてきて、おもしろいです。」

という学区の人との温かいふれあいの一コマもでてきた。

「あんなに遠くから来るなんて、たくさん歩くんだね。」

遠い道のりを歩く友達に改めて驚く子供たち。

「M子ちゃんの家は、消防小屋を曲がったところだね。」

その後、子供たちの日記には、違う通学路の友達の家遊びに行った様子もよく見られるようになった。できるかぎり子供たちの気づきや思いを大切にして、生活科の授業をしたい。オープンスペースは、まさにふれあいの絶好の場である。

師弟同行

先生の笑顔

竜海中学校

小川 規博

「教師になりたい。」

自分の一生の仕事を決めたのは中学三年生の頃です。当時、私の通っていた葵中学校は木造校舎で、冬は大変寒かったことが記憶に残っています。

しかし、建物は古くても友達達は温かく、転校生の私に親切にしてくれました。最近ではじめや不登校が話題になりますが、クラスではそういうことに全く縁がありませんでした。その時の担任は英語の大久保先生でした。

大久保先生の印象は、いつも笑顔でお話をされていたことです。当時は不思議に思う



は勿論、今の博物館でも、子供や保護者との交わりができて幸せであります。ずっとずっと続けられるよう心身共に精進したいものです。

こともありました。自分も教師になり、笑顔の意味が分かってきました。先生の笑顔を見て、教師になりたいという気持ち芽生えたのかもありません。そして、教師になってよかったです。私には大久保先生のまねはできません。でも私も大久保先生に負けないように、教師になりたいという生徒をたくさん育てていきたいと思っています。

言葉 一 対応 一

おかざき世界

子ども美術博物館

大久保安二

二十有余年目のお便りに、感激しております。私は教師になってよかったです。今でも思っています。学校勤めの折

私は、今のあなたの姿に最大の喜びを感じると共に、師弟愛に燃えた情熱を一層発揮してほしいと願っております。

私は、今いろいろな人と出会っています。園児・子供・大人と様々です。特に言葉に気をつけています。例えば、園児には園児なりの会話、子供には子供なりの言葉、大人には大人なりに対応しよう。そして、今日ただ今、ただ一度を大切にしている昨今です。

●個人研究の部

最優秀賞

氏名	学校名	教・領	研究主題
山内 貴弘	弘 輔	社会	価値認識を育てる社会科の授業・下
郡 筑祐一	美 川	数学	個を生かし、自ら学ぶ力を育てる数学指導

優秀賞

氏名	学校名	教・領	研究主題
長 坂 寿子	緑 丘	国語	どの子にものびのびと書く力を
河上 真一	〃	〃	生活への意欲に基づく作文教育
神尾 美佐代	岡 崎	〃	ことばの力を培う説明文の授業
林 尚子	竜美丘	〃	一人ひとりのよさを生かしながら主体的に読みを深める物語文学習
杉 江 美舟	広 輔	〃	学ぶ喜びが育つ授業
石原 喜代美	細 川	〃	「個」の確かな読みを育てる授業
中根 浩智	根 石	社会	子ども一人一人に、学習中での存在感や学習を終えての成就感のある楽しい授業作り
小川 真奈美	本 宿	〃	充実した追究を可能にする社会科学習指導
天野 孝志	矢作南	〃	地域から生き生きと学ぶ社会科学習
坂元 干城	〃	〃	主体的な追究活動から自分なりの社会認識を持つ子の育成
久次米 未知子	竜美丘	算 数	繰り返しの高い場合なかで算数のよさを味わわせる授業
坪井 恵里子	広 輔	〃	学び合う喜びを実感できる算数の授業の創造
恒川 知子	北 野	〃	子供が意欲的に取り組む算数科の授業
酒井 久久	竜美丘	理 科	一人一人が自らの問いを持ち、かかわり合いを深め合っていく授業の創造
清水 隆史	連 尺	〃	主体的に学習に取り組む子供の育成をめざして
清水 範彦	藤 川	〃	自ら問題を解決する子の育成
中根 精司	大樹寺	〃	子供の探求心を育てる授業をめざして
平野 泉根	根 石	生活科	活動を広げ、深める表現活動
河上 咲子	男 川	〃	自分の思いを持って活動する姿を求めて
藤藤 朋子	六美北	〃	自らの生活を築き上げる子どもたち
北原 理恵子	北 野	〃	めあてに向かって活動し続ける子供を目指して
石川 洋実	広 輔	音 楽	表現する喜びを育てる授業の創造
太田 悦子	連 尺	保健体育	運動する喜びを自分でつかむ体育学習
小田 英宣	上 地	〃	教え合い、励まし合う中で、互いに高め合う体育学習
磯村 彰久	連 尺	特別活動	一人ひとりが友達の良さを認め、お互いを生かし合う学級づくり
鈴木 正統	城 南	〃	よりよい集団をめざして自主的・積極的に活動する子どもを育てる学級活動
富田 幸子	六 名	特殊教育	自ら進んで人のかかわりを持つ子の育成を目指して
兼松 ゆかり	広 輔	〃	劇遊びを通して人とのコミュニケーション能力を育てる授業の創造
浅井 君枝	連 尺	学校保健	自ら健康な生活を実践しようとする子どもの育成
金 指 由香里	城 南	教育全般	国際化時代の中で、心豊かに生き生きと生活できる子どもをめざして
杉 浦 雅己	竜 南	国語	個性を生かす国語科の授業
倉 橋 正博	六美北	〃	言葉の感覚を磨く古典学習指導の工夫
坂井 明弘	竜 南	社会	生徒の個性を生かし、自己表現力を高める討論形式の社会科の授業
本 多 成光	六美北	〃	主権者としての社会認識の育成
小川 規博	竜 海	数 学	生徒自らつくり上げていく数学を目指して
高須 亮平	六美北	〃	自ら学ぶ意欲を高め、考える力を育てる課題学習
片岡 正樹	城 北	理 科	学習意欲を高める評価の実践をめざして
林 幸康	矢作北	〃	個の追求の深まり
太田 幹雄	六ツ美	美術	自己の思いを生き生きと表現できる生徒をめざして
山本 照司	竜 海	保健体育	自らチャレンジする体育学習
中立 香	城 北	〃	意欲的に運動する生徒を育てる
野本 恵香根	竜 南	〃	無限なる表現力で自分を発見する創作ダンスの授業
牧 惠子	六ツ美	英語	意欲的にコミュニケーション活動に取り組む生徒の育成をめざして
藤田 弘子	竜 南	〃	基礎基本を大切にし、個性を生かした英語の授業
名 倉 嘉章	竜 海	視・情報	発見する楽しさ、話し合う楽しさを味わう社会科の授業

●共同研究の部

最優秀賞

部会名	学校名	教・領	研究主題
現職教育部	竜美丘	教育全般	確かな学力と豊かな心
理科部	竜 海	理 科	自ら追究する生徒の育成

優秀賞

部会名	学校名	教・領	研究主題
6年生部会	六美南	社会	進んで自分の考えを発表できる子の育成
5年生生活部会	矢作北	特別活動	郷土の一員としての自覚を育てる特別活動の指導
健康教育推進部	山 中	学校保健	そだて はげめ のびよ 山中っ子
現職教育部	六ツ美	教育全般	自ら意欲を持って行動する生徒の育成
現職教育部	竜 南	〃	個性を生かす授業

〈論文応募者数〉

	個人	共同	合計
小学校	332	32	364
中学校	161	28	189
合計	493	60	553

佳 作

氏名	学校名	氏名	学校名
伊 藤 晴江	羽 根	鈴木 高子	上 地
鈴木 みどり	竜美丘	青山 照美	六美北
呼 柳 優子	〃	香川 哲範	広 輔
鈴木 みどり	連 尺	内田 純子	井 田
野々山 こぞ江	井 田	越 智 麻紀	根 石
鈴木 潤子	常盤南	梅村 京子	男 川
蛭 川 秀子	常 盤	天野 道晴	井 田
中 田 嘉代	六美北	松坂 裕文	上 地
萩原 高代	〃	宮地 久美子	美 合
寄田 加津子	岩 津	樽谷 京子	大 門
成 瀬 茂雄	根 石	尾崎 由美子	矢作東
長 坂 洋子	矢作南	藤井 明美	河 合
杉田 吉男	三 島	磯谷 佳保里	福 岡
丹 羽 真由美	連 尺	河合 美保	生 平
嵐 明子	広 輔	池田 芳浩	〃
井 村 峰子	大樹寺	石川 幸子	竜 海
徳 原 雅治	矢作東	丹 羽 郁子	福 岡
長 坂 洋子	矢作南	藤井 明美	河 合
後 藤 充人	六美北	佐野 百代	美 川
佐 渡 英彰	小豆坂	加納 隆	甲 山
鈴木 久夫	三 島	宇土 勝馬	竜 海
田村 康則	竜美丘	前田 康幸	河 合
深津 伸夫	上 地	藪田 正隆	六美北
多田 一孝	〃	大西 和夫	甲 山
小 玉 英次	三 島	坂田 裕史	美 川
杉田 ひろ子	竜美丘	加藤 嘉一	岩 津
安藤 直哉	連 尺	鈴木 勝久	矢 作
水 越 澄江	広 輔	坂本 雄士	六ツ美
宇都宮 和	本 宿	佐野 和彦	六美北
南 英雄	矢作南	森 竜師	城 北
志 賀 直仁	〃	鈴木 則夫	矢 作
本 多 教江	竜美丘	小島 英樹	竜 南
加藤 厚子	井 田	鈴木 孝司	〃
山 本 佳美	愛 宕	中野 善樹	竜 南
鈴木 悦子	河 合	河 渡 安男	竜 海
磯貝 琢己	本 宿	永田 勲	福 岡
永 田 操	矢作東	三浦 みどり	葵
藤 見 京子	矢作南	深津 幸弘	岩 津
斉藤 敬子	六美南	北村 公美	美 川
内 藤 清美	根 石	北 直美	葵
藤井 博子	常盤南	佐々木 人美	岩 津
酒井 君代	三 島	伊藤 幸雄	新香山
目黒 和佳子	岡崎	相川 たくみ	河 合
榎 木 哲朗	三 島	大 柿 峰 樹	竜 南
松 井 昭宏	竜 谷	〃	〃

佳 作

部会名	学校名	部会名	学校名
6年生部会	岩 津	国語部	六ツ美
2年生部会	矢作北	社会科部	六ツ美
児童部会	六美北	理科部	六ツ美
読書指導部	上 地	体育部	六ツ美
現職教育部	広 輔	技術・家庭科部	六美北
現職教育部	矢作南	〃	〃

一年のあゆみ



◀四十四年ぶりの愛知団体に
おいて市長さんから、産業
の火を受ける炬火ランナー

10 ・ 9	10 ・ 4	10 ・ 3	9 ・ 23	9 ・ 16	8 ・ 22	8 ・ 18	8 ・ 8	8 ・ 4	8 ・ 1	7 ・ 29	7 ・ 23	7 ・ 21	7 ・ 21	7 ・ 8	7 ・ 8	6 ・ 22	6 ・ 6	5 ・ 28	5 ・ 22	5 ・ 22	4 ・ 21	4 ・ 1
--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	-------------	-------------	-------------	--------------	--------------	--------------	--------------	-------------	-------------	--------------	-------------	--------------	--------------	--------------	--------------	-------------

- ・新規採用教員84名辞令伝達式
- ・現職教育委員会総会（岩津中）
- ・第38回岡崎市中学校総合体育大会開始
- ・全日本学校関係緑化コンクール表彰（平成5年度分）
- ・学校環境緑化活動の部
 - 特選 東海中学校
 - 準特選 城南小学校
- ・ニューポートビーチ市姉妹提携10周年記念コンサート（市民会館）
- ・中学生フフホト市訪問（13）
- ・学校保健総会（医師会館）
- ・中学生の主張コンクール（せきれいホール）
- ・ニューポートビーチ市中学生一行来岡（13）
- ・第47回岡崎市中学校市長杯総合体育大会開始
- ・小・中学校水泳競技大会渇水のため中止
- ・岡崎市小学校球技大会開始
- ・第21回岡崎市民大学講座開講（市民会館）
 - 花田 勝治氏（7・23） 岡村 喬生氏（7・30）
 - 吉武 輝子氏（8・20） 岡村 和夫氏（8・27）
 - 伊藤 光男氏（9・3） 海老名香葉子氏（10・1）
- ・第48回愛知県中学校総合体育大会（8・5）
- ・夏期実技講習会開始（2）
- ・第22回生徒市議会（市議会議場）
- ・第16回東海中学校総合体育大会（11）
 - バスケット競技男子の部 優勝 城北中学校
- ・平成6年度全国中学校選抜大会（26）
 - 陸上競技 女子共通二〇〇m二年連続優勝 竜南中学校 鈴木智実
 - 陸上競技 女子共通三種競技B 優勝 葵中学校 加藤友里
- ・第11回NHK杯全国中学校放送コンテスト
- ・ラジオ番組部門 優秀賞 常磐中学校
- ・第44次教育研究岡崎集会（北中・大門小）
- ・吹奏楽祭（市民会館）
- ・中学生ニューポートビーチ市訪問（12）
- ・岡崎市教育委員長に築瀬正邦氏就任
- ・第41回理科作品展（10）（中央総合公園武道場）



◀フフホトの蒙古族幼稚園での記念のスナップ



◀国道一号线の緑地帯に四百本のつつじを植樹する東海中生徒



▶本職の議員さん顔負けの市政ビジョンを語る中学生

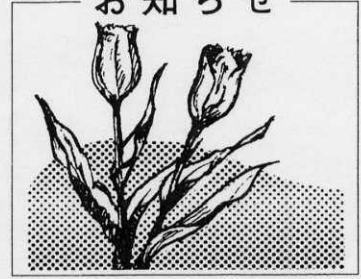


▶ニューポートビーチ市との姉妹都市提携十周年記念コンサート

平成6年度の研究発表校

月日	校名	分野	研究主題	研究概要	研究資料
6月10日	城南小	教育全般	心豊かに生き生きと活動する城南っ子の育成 — 自然に親しみ学ぶ「緑の学習」を核として —	「緑の学習」を自然とのかかわりを各教科、道徳、学級活動、業前活動を有機的に関連づけて意図的・計画的に学ぶ総合学習と規定し、その「緑の学習」を通して自然に主体的に親しむ、心豊かな子の育成を図った。	研究物 研究紀要、学習指導案綴 講師 愛知教育大学教授 川上 昭吾先生
6月14日	上地小	学習指導	学級づくりを基盤とした学習指導 — 生き生きと学習に取り組む児童の育成 —	学習指導の根底には教師と子供、子供と子供、よりよい人間関係が基本となる。学級経営部、学習指導部、読書指導部の3部会を構成し、よりよい学級づくりを基盤とし、子供の生き生きとした学習活動の展開を図る。	研究物 研究紀要 講師 前上地小学校長 嶋田 稔先生
6月24日	六ツ美南部小	教育全般	郷土に親しみ、郷土に立ち向かう子どもの育成 — 地域教材の効果的な活用 —	私たちは「子どもたちが、この町で楽しく学んだ思い出や、活躍し感得した思いをわが町としてなつかしみ、誇りに思う心持で昇華させてやりたい」と願い、生活科・社会科・特別活動からこの目標の達成を図った。	研究物 研究紀要、単元計画、郷土読本「悠紀の里」、学習指導案 助言者 内田 明夫先生(前指導員) 板倉 常治先生(前指導員) 飯谷 光男先生(前指導員)
6月28日	広幡小	全領域	学ぶ喜びが育つ授業 — 子供理解に立った教師支援のあり方 —	子供理解に立った単元の構成を工夫し、子供たち一人一人が活躍できるように支援すれば、子供たちは自ら学ぶ喜びを実感することができるであろうとの考えをもとに、研究主題を設定し、実践研究した。	研究物 研究紀要、学習指導案 助言者 川上昭吾先生 永田邦雄先生 神谷清久先生 松崎嘉信先生 杉浦正勝先生 前田勝洋先生 今泉一夫先生
10月14日	矢作南小	教育全般	子どもの目が輝き続ける授業の創造 — 一人ひとりが追究できる単元の構想と教師支援 —	期待と見通しを持って自己の課題を意欲的に追究していく子どもの姿に、「目の輝き」が見られると考える。その姿を求め、子どもの意識の流れに沿った単元の構想と的確な教師支援のあり方の両面から追ろうとした。	研究物 研究紀要、学習指導案綴、実践記録集(各学年) 助言者 福應謙一先生 近藤公一先生 鈴木 修先生 鈴木敏雄先生 前田勝洋先生 梶尾長夫先生
10月18日	愛宕小	社会・生活	自ら学ぶ意欲をもって学習する子どもの育成 — 地域に根ざした社会科・生活科を通して —	地域に結び付いた教材を発掘して、未知から既知へ、既知から未知へ、と1時間の授業を展開させるという新しい授業観に基づいた学習指導の実践を試みた。子どもたちが進んで調べようという意欲を持つようになった。	研究物 研究紀要、学習指導案綴、社会科・生活科分科会資料集 講師 愛教大教授 有田 和正先生 助言者 愛教大講師 近藤 克実先生 教育センター 福應 謙一先生
10月20日	竜海小	教科指導	自ら追究する生徒の育成 — わかる学習指導第5次研究2年次 —	単元の中や1時間の学習の中で、教えるべき内容と生徒自らに追究させるべき内容を構造的に明らかにし、教科における「基礎基本の定着」と「自己教育力の育成」をめざして実践した。	研究物 学習指導案綴、教科別研究協議会記録、研究のまとめ 助言者 岡崎市教科指導員合同訪問として指導員の各先生方
10月21日	六ツ美中	教科指導	自ら意欲を持って行動する生徒の育成 — 授業づくりを通して —	思考力・判断力・表現力の育成、指導法の工夫、生徒理解、教材の精選という4つの柱を中心に、生徒の学習の意欲化を図り、主体的に学習・行動できる生徒の育成をしようと実践を積み重ねてきた。	研究物 研究紀要、学習指導案綴 講師 文教大学教授 石田 恒好先生
11月11日	矢作東小	教育全般	確かで豊かな言語表現力を伸ばす指導 — 郷土や身近なことから学習を通して —	音声言語表現に基本的な指導方針をおいた。子供の生活に密着した教材を通して、一人ひとりの見学・観察・体験などの活動を重視しながら「話す」「聴く」「書く」の主体的・行動的な言語表現力の育成を目指した。	研究物 研究紀要、学習指導案綴、郷土や身近な教材の手引き 講師 園立国語研究所 甲斐睦朗先生 助言者 有我亮介先生 嶋田 稔先生 牧太刀彌先生 岩月 健先生
11月22日	竜南小	教育全般	個性を生かす授業 — 自己選択力を伸ばし、自己表現力を高める —	学習の基礎・基本の定着を図るとともに、個々の生徒の多様な個性を把握し、それを生かす学習指導方法を工夫・改善することにより、意欲的・主体的に学習に取り組む生徒の育成をめざした。	研究物 研究紀要、分科会提案要項、学習指導案綴 助言者 野々山宏司・長坂信一・二瓶千秋・平岩浩文・鳥居弘子・大村寛・伊藤直也・三浦倫夫・山本悟・小椋弘子の各先生方
12月9日	城北中	教育全般	国際社会に生きる生徒の育成 — コミュニケーション能力を高める英語科のT-Tの研究を中心として —	英語科におけるALTとのチーム・ティーチングの研究を通して、コミュニケーション能力を高めると同時に、全教科・領域での国際理解教育の実践により、国際社会に生きる日本人としての資質を培ってきた。	研究物 研究紀要、学習指導案綴 講師 明德短大教授 後田 忠勝先生 足助教育事務所次長 吉田 允昭先生
2月14日	奥殿小	教育全般	豊かな自然の中で意欲的に取り組む奥殿っ子 — 青少年赤十字活動の実践 —	豊かな自然の中で奉仕等体験学習を通して、人のため郷土社会のために、意欲的に取り組む子の育成を目指した。主題に迫るために道徳や学活の授業研究、実践活動として児童会や日常のボランティア活動の研究等を進めた。	研究物 研究紀要 *紙上発表

お知らせ



天野 美和・三重野舞子
カナデアアンシンゲル

男子 新香山中 土井雄介
カナデアアンペア

男子 新香山中
土井 雄介・成瀬 満

◆第二十九回全国野生生物保
護実績発表大会
環境庁自然保護局長賞
生平小学校

◆少年消防クラブ防火作品展
市長賞
（ポスターの部）

矢東小 四年 土田恵理子
六美中 二年 鶴田 美佳

上地小 六年 渡辺 裕記
東海中 二年 中村 有希

◆市小中学生作文コンクール
最優秀賞

六南小 一年 石川 了慈
童海中 二年 鈴木 悠夏

◆優秀賞
六北小 四年 小島 宏文

生平小 五年 宇津野友佳
北 中 一年 鈴木奈津子

六北中 三年 野田 紋子

◆愛知県自作視聴覚教材コン
クール

最優秀賞 AV L・理科部

◆第四十六回岡崎市民駅伝競
走大会

・優勝 童海中学校 A
（一時間三十六分三十三秒）

・二位 矢作中学校 A
・三位 矢作北中学校 A

・区間賞
一区 山岸 哲也 矢作中

二区 熊野 伸哉 南中
楓 智一 矢作中

三区 小林 公之 常磐中
四区 辻原 公平 矢北中

五区 酒井 陵 童海中
六区 神谷 明光 矢北中

七区 大見 英明 矢作中
八区 服部 豊 童海中

九区 行田 臣 童海中

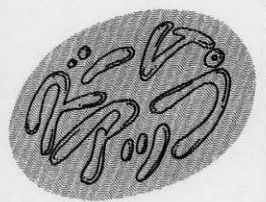
◆平成七年度岡教組執行委員
委員長 神尾光伸 根石小

副委員長 塩澤順治 童南中
書記長 板倉 登 連尺小

書記次長 岩附広行 矢作中
組織部長 杉田吉男 三島小

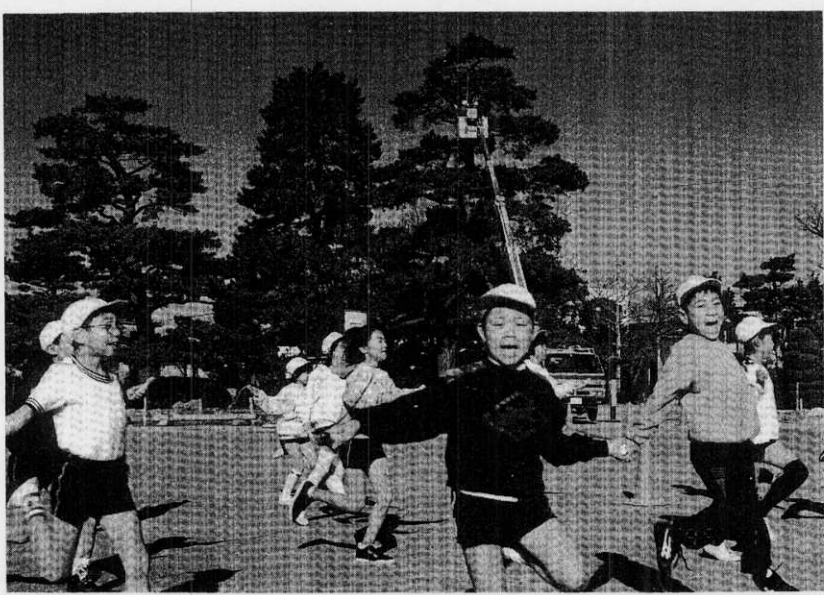
教文部長 太田一弘 六北中
情宣部長 米村 進 根石小

福対部長 鈴木 明 南中
調査部長 加納 隆 甲山中
会計委員 都筑裕一 美川中
青年部長 山内貴弘 広幡小
女性部長 菅沼和子 矢東小



福岡小

台風二十六号の被害を受
けた大松の剪定作業が始ま
った。化粧直しされていく
大松の下で、子供たちが伸
びやかに遊ぶ。みごとにそ
びえ立つ五本の大松は学校
の心の柱だ。





竜海中蔵

『地學事始』

この書物はアメリカの地理書や歴史書等を訳出、編集したものと、明治三年に出版されたものである。

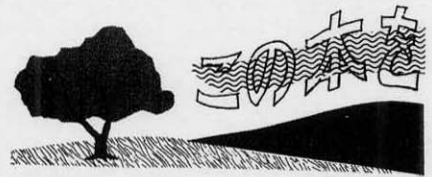
当時、一般には知られていなかった世界地理や人種など、地球の概要全般についての学問を「地学」として紹介したのである。地動説について述べた天文学的なものから始まり、アジア、ヨーロッパ、アフリカ等の地理及び歴史などについて、広く述べられている。

開き日本の外にも国あるを知らしめんとするものなり」や、「…務めて幼童の想像に入易からん為なり」という言葉もあり、明治五年の学制発布の前後、寺子屋から小学校への移行の際に、地(理)学を学ぶテキストとして用いられていたと考えることもできよう。学制が発布された時には、下等五級(七歳半)から「地理読み方」として、また下等三級(八歳半)では「地理学輪講」として履修していた。

・表紙写真
・表紙詩
・カット

常磐小
常磐小
竜海中

大岡久芳
大岡久芳
長谷川勝一



- *宇宙へ行ってらっしゃい 毛利 彰子 朝日新聞社 ¥1400
- *中村久子の生涯 黒瀬昇次郎 致知出版社 ¥2500
- *錯覚の心理学 椎名 健 講談社 ¥650
- *日本語はおもしろい 柴田 武 岩波書店 ¥620

*農的生活 大塚 勝夫

NECクリエイティブ ¥1500
我が国の近代化とは何であったか。空洞化産業の現状、これでいいのか。

経済学博士の筆者が、地球環境の視点から人類の生き延びる方向を模索し、我が国成熟社会に警鐘を鳴らす。

文明史に照らし、人類の真の豊かさとは何かを説き明かす。考えるポイントは「共生」であるという。あらゆる生き物の生命を中心におく「農的共生」「農的生活」の重要性を提唱する。自然への見直し、畏敬の念を新たにさせられる。

恐ろしさや将来の不安から眠れぬ夜が未だに続く阪神大震災の被災地の人々。心の傷を癒すカウンセラーが望まれている。学校教育の場でもカウンセリングマインドの必要性が問われる最近。心のことからこそ、温かさ、優しさを持った共感的理解が大切であろう。

オアシス

アス

「あつい」。生徒の悲鳴がした。駆け寄って見ると、ハンダ鏝ゴに触れた指先の皮膚が白かった。K男は「熱中すると鏝先を持つから注意しなさいと先生が言ったが本当だ」と言って手洗い場に行った。私は山本元帥の言葉を思い出し、安全指導の未熟さを反省した。

情報化社会の現在、マルチメディアがクローズアップされている。パソコンなどに慣れ親しんでいる子供にとって、様々なメディアの扱いについては抵抗が少ないであろう。今後は、教師がコンピュータ活用の知識・技術を習得する必要が増すであろう。

すがすがしさを実感させてくださった市川さん。能面にかけるひたむきさとともに、その言葉の美しさに心ひかれた。一見無表情な能面も動きによって様々な表情を見せるというが、さりげない言葉の端々にも人柄がにじみ出るものだ。